

2021.8.17

9/18 第 25 回働学研に向けてのお願い

十名 直喜

9/18 第 25 回働学研は、国際文化政策研究教育学会の文化政策セミナー（9/18-19）の一環として開催されます。セミナーの全体プログラムは、1 カ月前に編成し、学会員にアナウンスする必要があります。

9/18 働学研プログラムも、通常の月例会よりも 1 カ月早く編成する必要がありました。

そこで 2 週間前のメールで、積極的に応募していただくようお願いしました。時間がないために、何人かの方には発表の打診も行いました。

その甲斐あって、7 本の発表申し込みをいただき、下記のプログラムになっています。

発表資料については、9 月上旬(遅くとも 9 月 10 日)までに、お送りください。

9/18 午後（13:30～17:00）：環境・文化・技術の 21 世紀的諸相と課題

働学研（博論・本づくり）研究会

（司会：十名、画面：澤 発表 15 分・議論 15 分：計 30 分/本）

第 1 部：21 世紀の都市づくり ー環境&文化価値の向上

程 遠紅：「博論目次 & 第 6 章 中国における環境教育の現状と課題」（30 分）

高松平蔵：「価値集積地としてのドイツの中心市街地」（30 分）

杉山友城：「福井から眺める地域づくりの視点ー獲得・親和・学習・防衛」（30 分）

第 2 部：21 世紀「大工業」の諸相と課題

片山勝己：「工具調達の仕組みと効率化方策 ー大規模製造業を中心にして」（30 分）

太田信義：「CASE」における技術アウトソーシングの役割と課題

ー自動車における技術大変革の到来」（30 分）

第 3 部：ICT と地球有限時代の生産力とサステナビリティ

平松民平：「ICT が促す「新しい生産力」」（30 分）

十名直喜：「地球有限時代の生産力概念とサステナビリティ」（30 分）

なお、当日の参加用 URL につきましては、十名（tona@iris.eonet.ne.jp）までお知らせください。